こくみん共済　U-12サッカーリーグ　in　北海道　札幌地区リーグ2015　　開催要項

目的	実力の拮抗したチーム同士による長期にわたるリーグ戦を行うことで、選手の試合出場機会を増やし、選手個人のモチベーションのアップおよび個人技能のレベルアップを図る。
主催	（公財）北海道サッカー協会
主管	札幌地区サッカー協会、札幌市サッカースポーツ少年団連盟
後援	札幌市教育委員会、（一財）札幌市体育協会、札幌市サッカースポーツ少年団連盟後援会
運営	各ブロックの参加全チーム ＊各ブロックから１チーム「リーグ運営委員」を推薦する。運営委員となったチームは、日程・会場調整、結果報告、累積・警告の管理など、ブロックの円滑な運営に努める。 ＊リーグ運営委員とならなかったチームは、会場確保・準備・運営を日程の中で最低１日は行う。 ＊各ブロックから「リーグ戦担当委員」を推薦する。担当委員はエントリー表や選手にかかわることの管理をする。
期日	平成２７年４月１８日、５月９日・１６日・２３日、６月１３日・２０日、７月１８日、８月８日・２２日・２９日、９月５日（すべて土曜日） ＊上記日程でブロックごとに必要な日数を開催日として決定し、実施する。 ＊全試合を消化することを原則とする。
参加資格	①（公財）日本サッカー協会第４種に加盟したチーム及び所属する選手であること。ただし、未就学児の参加は認めない。 ②参加選手は、スポーツ安全協会傷害保険（第１種A）もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。 ③６年生が９名以上登録されているチームは、２チーム以上の参加が可能である。（リーグ戦の目的を踏まえ、３年生以下の参加についてはチームで十分に検討すること。） ④単独チームでの参加が難しい場合は、近隣の複数チームで合同チームを結成しての参加も可能である。なお、その場合いは、６年生の選手が７名以下のチーム同士であることが条件となる。
ﾌﾞﾛｯｸ編成	次の５つのカテゴリーに分けてブロック編成を行う。 ①スーパーリーグ（１６チーム：２ブロック） ②アンビシャスリーグ（１６チーム：２ブロック） ③チャレンジリーグ（３２チーム：４ブロック） ④ドリームリーグ（３２チーム：４ブロック） ⑤フューチャーリーグ（３２チーム：４ブロック）新規チームはここからスタートです。 ＊２チーム以上参加を希望する場合は、参加申し込み用紙で参加資格を確認すること。 参加チーム数が１２８を超えた場合、フューチャーリーグから順に９チームブロックとしていく。 なお、リーグ戦の成績をもとに全日本少年サッカー大会札幌ブロック予選の組み合わせを決定する。 リーグの所属は前年度のリーグ戦の結果を反映し、リーグ下位チームとリーグ上位チームの入れ替えを行う。上記①⇄②は上位下位２チームずつの入れ替え、②⇄③は上位下位１チームずつの入れ替えとする。③⇄④以降は２チームずつの入れ替えとする。
競技方法	①各ブロック２回戦総当たりのリーグ戦を行い、順位をつける。 ＊リーグ戦の順位決定方法は（１）勝ち点（勝ち:３点　引き分け:１点　負け:０点）（２）得失点（３）総得点（４）対戦相手（５）抽選の順とする。 ②試合は８人制とし、少年用ゴールを使用して行う。 ③試合時間は、３０分（１５分―５分―１５分）とする。

競技規則	①（公財）日本サッカー協会制定「サッカー競技規則２０１４／２０１５」および「８人制サッカールールと審判法」による。審判は、原則１人制とするが、審判育成のことも考え、ゲームごとに３人で行うことも可とする。ただし、審判費は、何人で行っても１試合１０００円で一律にするので、審判を行った者で審判費を相談して分配する。（審判領収書は、主審を行った者が代表して金額１０００円で記入する。）なお、これとは別に補助審を義務付ける。 ②ベンチ入りの人数の制限はしない。大会エントリー表兼メンバー表の提出を義務付ける。ベンチ入り全選手のフリー交替とする。（複数チーム登録の場合は、チーム間の選手の入れ替えは可能であるが、同日別ブロックの試合に出ることはできない。） ③試合開始３０分前に、ユニフォームのチェックを義務付ける。（フィールドとキーパーで正副４着持参） ④大会において退場させられた者は次の１試合に出場できず、大会期間中に警告を２回受けたものは次の１試合に出場できない。退場の理由・内容によっては、札幌地区サッカー協会規律・フェアプレー委員会の判断により複数の試合、または一定期間の出場停止もあり得る。 ⑤本大会期間中、警告を２回受けた者は、次の１試合に出場できない。警告の持ちこしは、リーグ戦担当委員が責任を持ちリーグ内で管理する。 ⑥試合球は、４号球（検定球）とする。 ⑦スパイクシューズは固定スタッドの物とし、金属あるいはプラスチック製取替スタッドの物は認めない。 ⑧エントリー表と選手証の確認をする。選手証は１度認証されたらそれ以降は提示の必要はない。
ユニフォーム	①ユニフォームは（公財）日本サッカー協会ユニフォーム規定を厳守すること。 ②上衣・パンツ・ストッキングは正のほかに副としてこれと異なる色の上衣・パンツ・ストッキングを携行すること。 ③審判と類似の色の上衣を用いることはできない。 ④多くの子にＧＫやＦＰを経験させるために、ゲーム中にＧＫの交替を予定している場合のみ、ＧＫのビブス着用を認める。
その他	①リーグ戦実施の目的を達成するために、全チームの参加を義務付ける。ただし、チーム事情で参加が難しい場合は、事務局と相談し、参加の有無を決定する。 ②札幌市サッカースポーツ少年団連盟の活動方針を遵守し、大会運営に積極的に協力すること。参加資格など、その他不都合な行為があった場合、出場を停止することもある。 ③各チーム指導者は、リーグ戦実施の意義、（公財）日本サッカー協会の方針を十分に理解し、試合に臨むこと。ベンチ入り選手は、前半もしくは後半のいずれかに必ず出場させるなど、選手の出場機会確保には十分に配慮すること。 ④グラウンドサイズについては、６０～６８ｍ×４０～５０ｍとする。 ⑤本大会に参加するチームは、札幌地区サッカー協会主催の指導者講習会（５月開催予定）に登録１チームにつき１名以上の参加を義務付ける。 ⑥リーグ戦の結果をもとに全日本少年サッカー大会札幌ブロック予選およびそれにつながる札幌地区予選の組み合わせを決定する。詳細については、別途提案とする。 ⑦札幌地区予選以降のトーナメントにはリーグ戦最終節のメンバー表に記載されたメンバーから１６名を選出してエントリーすることとする。 ⑧追加エントリーがある場合は、Ｗｅｂ登録等所定の手続きが完了してから随時認める。その際、その選手の名前を記載した大会エントリー表兼メンバー表を作成し、事務局に提出して確認を受けることとする。その手続きはその試合の１週間前までとする。背番号の変更がある場合も同様とする。 ⑨複数エントリーのチームの選手の入れ替えは、移動ウインドウが開かれている期間のみとし、チーム内で重複することのないように大会エントリー表兼メンバー表を作成し、リーグ戦担当委員に提出して確認を受けることとする。 ⑩大会エントリー表兼メンバー表が破損や紛失した場合は、事務局に預けている大会エントリー表兼メンバー表の複製を受け、承認印を受けたものを使用することとする。 ⑪リーグ戦期間中に事情によりチームが参加不可能となった場合、そのチームの該当結果はすでに終わった試合も含め、すべて抹消（没収試合扱い）とする。